

エコプラン平成26年度実績報告書

1. 温室効果ガス排出量算定結果

(1) 温室効果ガスの排出削減目標

佐世保市では、市役所自らの事務事業によって排出される温室効果ガスを削減するため、「佐世保市役所エコプラン」（以下、エコプランという。）を策定し、地球温暖化防止に向けて取り組みを進めています。

エコプランでは、平成25年度から平成29年度までの5年間の計画期間とし、平成29年度における排出量を、平成22年度比で6%削減することを目標としています。温室効果ガス排出量が多い施設を有する事業ごとに部門別削減目標を設定し、エコプランの進捗管理は佐世保市環境マネジメントシステムで行っています。

エコプランの取組の基本的方針（「1 省エネ行動の実践」、「2 施設における省エネルギー化の推進」、「3 環境負荷の少ないエネルギーの利用推進」、「4 公用車における省エネルギー化の推進」、「5 ごみの減量化、資源化の促進」、「6 その他（事務用紙使用量の抑制や節水、グリーン調達の推進等）」）に基づく活動とあわせて、「環境法規制の順守」や「公共工事の環境配慮」を対象とし、PDCAサイクルを活用した取り組みを行い、継続的改善を図ることで、市役所全体の目標達成を目指しています。

(2) 平成26年度における温室効果ガス排出量

平成26年度における温室効果ガス排出量は、CO₂換算で70,157,698kg-CO₂でした。基準年度（平成22年度）における温室効果ガス排出量に比べ19.93%減少しました。

【部門別の排出量（平成26年度）】

部門		対象施設等		H22年度排出量(kg-CO ₂)	H26年度排出量(kg-CO ₂)	増減率
事務		事業部門以外(交通を含む)		16,152,314	14,540,121	-9.98%
事業	ごみ処理	環境部	施設課、西部CC、西部CC浸出水、西部CC資源化、西部CC灰溶融、東部CC、宇久環境センター、宇久清掃センター、宇久一般廃棄物最終処分	53,784,099	38,446,265	-28.52%
	し尿処理	環境部	クリーンピュアとどろき 宇久衛生センター	2,889,134	2,826,901	-2.15%
	水道	水道局	水道事業(東部管理グループ含む)、北部管理事務所、宇久営業所、水道施設課、山の田浄水場、大野浄水場、柚木浄水場、広田浄水場	5,875,775	5,342,717	-9.07%
	下水道	水道局	下水道事業課、下水道施設課・水質管理センター、下水処理課(施設使用分)	4,204,170	4,331,814	3.04%
	病院	総合病院	総務課、経営企画課、財務課、看護専門学校	4,714,071	4,669,880	-0.94%
合計				87,619,563	70,157,698	-19.93%

温室効果ガス種類別割合では二酸化炭素が96.10%と大半を占めており、排出原因では廃プラスチックの焼却によるものが41.82%、電気の使用によるものが39.91%を占めています。平成26年度排出量が減少した主な理由は、ごみ処理部門における廃プラスチックの焼却量の減少です。

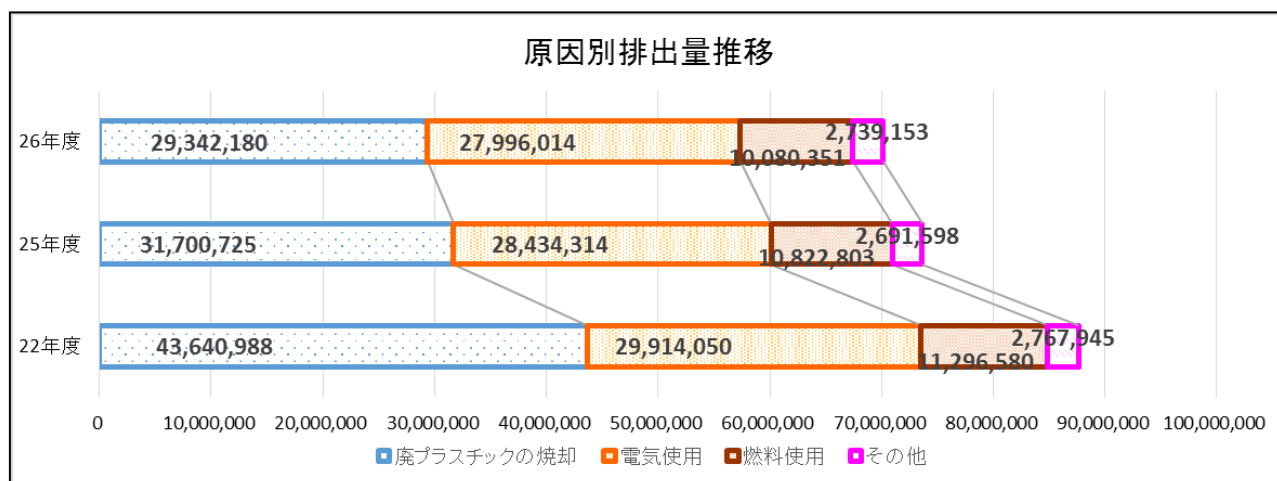
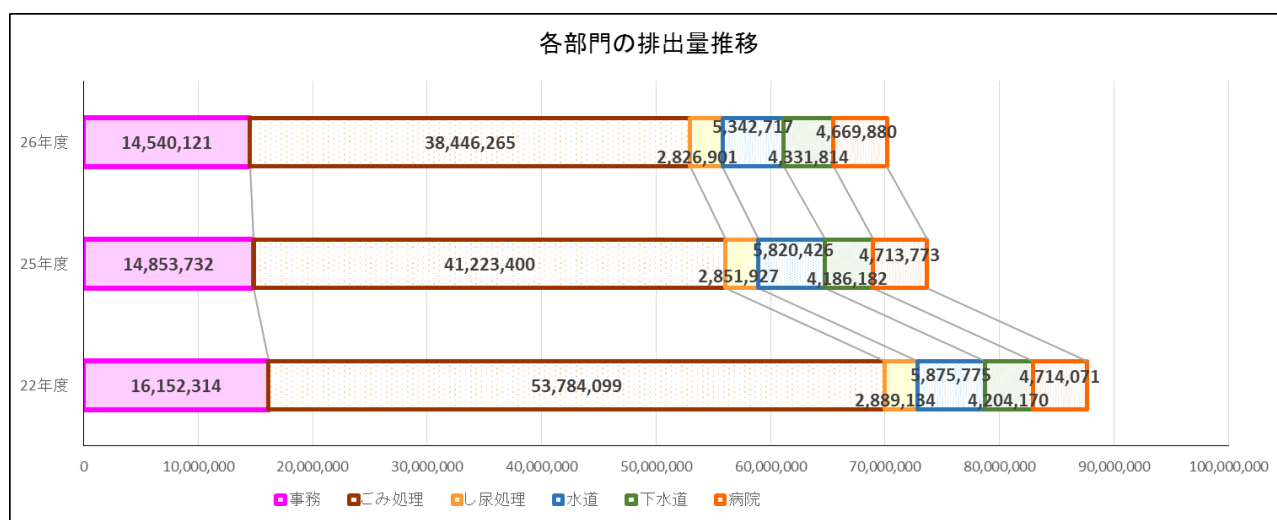
【温室効果ガス別内訳（平成26年度）】

温室効果ガス名	排出量 (kg-CO ₂)	構成比 (%)
二酸化炭素	67,418,545	96.10
一酸化二窒素	2,332,750	3.32
メタン	399,903	0.57
ハイドロフルオロカーボン	6,500	0.01

【排出原因による内訳（平成26年度）】

排出原因	排出量 (kg-CO ₂)	構成比 (%)
廃プラスチックの焼却によるもの	29,342,180	41.82
電気の使用	27,996,014	39.91
燃料の使用	10,080,351	14.37
その他	2,739,153	3.90

(3) 年度における温室効果ガス排出量の推移



2. エネルギー使用量等実績

温室効果ガス排出量の削減目標を達成するため、エコプランの取組方針に基づき、各課かいにおいて、取組目標を設定し、環境活動を実施しました。全課かいで、エネルギー7項目（電気・ガソリン・軽油・A重油・灯油・都市ガス・LPG）の使用量、事務用紙使用量、水道使用量、可燃ごみ排出量の削減に取り組みました。

（1）目標値の設定について

エコプランにおいては、ガソリンを除く各エネルギー使用量の削減目標を部門毎（事務系、ごみ処理事業、し尿処理事業、水道事業、下水道事業、病院事業）に、ガソリン、事務用紙、水道、可燃ごみの削減目標を、共通で設定しています。

（2）平成26年度結果

取組み結果は以下のとおりとなっています。下記の10項目のうち7項目（電気使用量、ガソリン使用量、軽油使用量、A重油使用量、灯油使用量、都市ガス使用量、LPG使用量）において順調に削減できています。使用量が増加した項目のうち、事務用紙使用量については、制度改正や業務による印刷物、資料作成が主な要因で増加しました。水道使用量の増加は、佐世保市学校給食センターの新設や動植物園におけるペンギン館のオープンが主な要因です。また、可燃ごみ排出量は、佐世保市学校給食センターの新設や、動植物園において糞のコンポスト処理の機械を撤去し、糞を可燃ごみとして処分していることが主な要因で増加しました。

【総括 各エネルギー使用量等の削減割合】

総括	基準年度使用量 (22年度)	25年度		26年度	
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)
電気使用量(Kwh)	77,698,839	73,855,367	-4.95%	72,716,926	-6.41%
ガソリン使用量(L)	287,703	285,688	-0.70%	279,823	-2.74%
軽油使用量(L)	1,570,817	1,590,341	1.24%	1,465,697	-6.69%
A重油使用量(L)	578,824	477,000	-17.59%	421,300	-27.21%
灯油使用量(L)	782,433	797,072	1.87%	727,348	-7.04%
都市ガス使用量(m ³)	1,115,032	1,013,563	-9.10%	970,338	-12.98%
LPG使用量(kg)	164,988	149,453	-9.42%	155,024	-6.04%
事務用紙使用量(枚)	27,367,137	29,570,641	8.05%	28,550,995	4.33%
水道使用量(m ³)	316,684	332,644	5.04%	340,583	7.55%
可燃ごみ排出量(kg)	63,297	116,786	84.51%	152,190	140.44%

【部門毎の各エネルギー使用量等の削減割合】

事務系	基準年度使用量 (22年度)	25年度		26年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	22,162,894	19,735,098	-10.95%	19,570,829	-11.70%	-5.00%
ガソリン	287,703	285,688	-0.70%	279,823	-2.74%	-5.00%
軽油	1,553,627	1,573,935	1.31%	1,446,949	-6.87%	-5.00%
A重油	257,694	199,360	-22.64%	208,160	-19.22%	-5.00%
灯油	277,783	278,978	0.43%	279,136	0.49%	-5.00%
都市ガス	436,533	344,532	-21.08%	366,820	-15.97%	-5.00%
LPG	158,367	144,920	-8.49%	151,122	-4.57%	-5.00%

ごみ処理事業	基準年度使用量 (22年度)	25年度		26年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	17,861,844	16,610,928	-7.00%	16,072,034	-10.02%	-10.70%
軽油	17,120	15,468	-9.65%	17,953	4.87%	-10.70%
A重油	164,400	119,200	-27.49%	114,600	-30.29%	-10.70%
灯油	502,257	516,748	2.89%	447,252	-10.95%	-10.70%
LPG	2,961	1,216	-58.93%	1,000	-66.23%	-10.70%

し尿処理事業	基準年度使用量 (22年度)	25年度		26年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	7,137,732	7,054,386	-1.17%	7,001,304	-1.91%	-5.50%
灯油	1,000	560	-44.00%	160	-84.00%	-5.50%
LPG	642	262	-59.19%	214	-66.67%	-5.50%

水道事業	基準年度使用量 (22年度)	25年度		26年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	15,249,260	15,108,528	-0.92%	13,869,859	-9.05%	-5.00%
軽油	0	743	22年度使用なし	618	22年度使用なし	-5.00%
灯油	1,000	200	-80.00%	200	-80.00%	-5.00%
都市ガス	354	117	-66.95%	50	-85.88%	-5.00%
LPG	502	320	-36.25%	205	-59.16%	-5.00%

下水道事業	基準年度使用量 (22年度)	25年度		26年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	8,195,096	8,216,211	0.26%	8,370,513	2.14%	-7.00%
軽油	70	155	121.43%	170	142.86%	-7.00%
A重油	2,730	2,440	-10.62%	2,540	-6.96%	-7.00%
灯油	393	586	49.11%	600	52.67%	-7.00%
LPG	325	310	-4.62%	397	22.15%	-7.00%

病院事業	基準年度使用量 (22年度)	25年度		26年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	7,092,013	7,130,216	0.54%	7,832,387	10.44%	-5.00%
軽油	0	40	22年度使用なし	7	22年度使用なし	-5.00%
A重油	154,000	156,000	1.30%	96,000	-37.66%	-5.00%
都市ガス	678,145	668,914	-1.36%	603,468	-11.01%	-5.00%
LPG	2,191	2,425	10.68%	2,086	-4.79%	-5.00%

3. 環境活動の取組目標の達成状況

温室効果ガス排出量の削減目標を達成するため、エコプランの取組方針に基づき、各課かいにおいて、取組目標を設定し、環境活動を実施しました。平成26年度の取組目標における、部局内各課の達成状況の評価の詳細は、別紙のとおりとなります。

(1) 省エネ行動

「冷暖房機器・OA機器の適正管理」について、不十分と評価した部局が、1割程度ありました。「業務の効率化、労働時間の短縮」については、不十分と評価した部局が3割程度ありましたが業務の都合上やむを得ないこともあります。総体的には、概ね実施されていました。

(2) 施設における省エネルギー化

「高効率な設備機器の優先導入」、「建築物の省エネルギー化の推進」について、不十分と評価した部局が3割程度ありました。「設備機器の効率的な運転管理」は、対象とする全部局で概ね実施されていました。

(3) 環境負荷の少ないエネルギー利用

実施できなかった部局もありましたが、「再生可能エネルギーの率先導入」について、7部局において検討されていました。

(4) 公用車における省エネルギー化

「エコドライブの徹底」、「効率的な運行管理」については、対象とする全部局で概ね実施されていました。「低燃費車の導入」については、不十分と評価した部局が4割程度ありました。

(5) その他

「事務用紙使用量の抑制」については、2割程度の部局が、「廃棄物の削減、リサイクルの推進」については、1割程度の部局が不十分と評価しました。「ノーマイカーデーの実施」については、不十分と評価した部局が6割程度ありましたが、交通の利便性や子どもの送迎等、やむを得ないこともあります。「イベント等における環境配慮」については、ほとんどの部局で概ね実施されており、「節水」、「グリーン調達の推

進」については、全部局で概ね実施されていました。

(6) 環境法規制等の順守

ほとんどの部局で遵守されています。一部部局において遵守漏れがありましたが、すでに対応済みです。

(7) 公共工事の環境配慮

すべての部局で実施できていました。

4. 研修

適切なEMSの推進を目的とし、職員の環境マネジメントシステムに関する理解を深めるため、下記の研修会を実施しました。

・ 新人職員研修

(日時) 5月21日(水)

(対象) 新人職員(受講者 72名)

(内容等) 市役所における地球温暖化対策への取り組みについて

・ 課長、EMS 実行委員研修

(日時) 5月27日(火)、28日(水)(受講者 322名)

(対象) 各課長及びEMS 環境実行委員

(内容等) 環境問題の現状、概要、運用のポイント 等

・ 内部環境監査員養成研修

(日時) 11月11日(火)

(対象) 環境保全課計画係職員(受講者 6名)

(内容等) 環境基礎講義、内部監査の手順、内部監査のポイント、ケーススタディ演習 等

5. 平成26年度内部環境監査実施結果

(1) 監査実施日

平成26年11月19日(水)～平成27年2月4日(水)

(2) 監査対象課かい

被監査部門 37課かい

観光物産振興局

動植物園

企画部

江迎分室、鹿町分室

総務部

情報政策課、総合窓口・番号制度準備室

財務部

財政課、財産管理課

農水商工部	競輪事務所、水産市場
都市整備部	まち整備課
市民生活部	相浦支所、日宇支所、黒島支所、江迎支所、鹿町支所
保健福祉部	犬管理所、東部芳世苑、看護専門学校
子ども未来部	子ども子育て応援センター
環境部	廃棄物指導課、東部クリーンセンター
消防局	警防課、西消防署
交通局	業務課
水道局	北部管理事務所
総合病院	財務課
教育委員会	社会教育課、スポーツ振興課、公民館政策課、中部地区公民館、相浦地区公民館、日宇地区公民館、黒島地区公民館、愛宕地区公民館、世知原地区公民館、鹿町地区公民館、島瀬美術センター

環境負荷の大きい施設、出先の施設、その他、事務局において、現在の取り組み状況や業務における環境への影響等を勘案し、今年度監査をする必要があると判断した課かいを対象としました。

(3) 監査チーム

内部環境監査員 7名により 20チームを編成（1チームあたり 2名）

(4) 監査の内容

佐世保市環境マネジメントシステムとの適合状況や日々の取組状況等について確認しました。監査チームは、主に以下の項目について監査を実施しました。

監査項目	主な点検内容
a. 省エネ省資源行動	省エネ省資源行動等について、取組目標が適切に設定され、効果的に実施されているか
b. 環境投資	設備機器の省エネ化や環境負荷の少ないエネルギー利用等が検討・実施されているか
c. 環境法規制等	適用を受ける法規制等が順守されているか
d. 公共工事の環境配慮	点検マニュアルの対象工事について、点検が適切に実施されているか
e. 取組状況の評価	取組状況の確認や評価が適切に実施されているか
f. 是正対応	課題に対して適切な是正が実施されているか
g. 研修の実施	適切に職場研修が実施されているか 理解度は十分か

(5) 監査結果

優秀事項 3件

要改善事項 16件

「優秀」事項の内容

《江迎支所》

・空調効率を高めるため、ビニールカーテンで不要なスペースの天井を区切っており、1～2℃程度効果が出ていました。これは課全体で日常的に節電について検討している結果、臨時職員から出たアイデアを取り入れたものであり、その取組姿勢や、わずかな投資で効果をあげている点は、模範となるものです。

《看護専門学校》

・職員の点検の他に、学生が主体となって環境に取り組む「保安環」という係を設置し、毎月の目標と振り返りを行い、学校全体で環境に取り組んでいました。学年ごとに記録がされ、担当職員が確認を行っていました。

《相浦地区公民館》

・2階の雨どいにビニールシートを貼り、ホースをつたって1階のポリバケツに雨水が溜まるよう工夫されていました。館長自ら作成したもので、グリーンカーテン用で育てていた朝顔への水やりで使用していました。一雨降れば、100ℓほど溜まり、1週間程度利用できるものでした。夏場の水やりには雨水を利用したことで、かなりの水道使用を削減できていました。職員のちょっとしたアイデアと工夫で節水できており、とてもいい取組です。

「要改善」事項の内容

a. 省エネ省資源行動

目標設定している項目について、順守できていない事例がありました。裏紙利用や、吹き出し口に物を置かない等、ちょっとした職員の意識で改善できる内容が多く見受けられたため、各課において確実に設定目標の周知及び順守を行う必要があります。

b. 環境投資

要改善の指摘はありませんでした。

c. 環境法規制等

駐車場のアイドリングストップ周知の掲示、産業廃棄物の保管場所の明示がされていない事例が散見されました。

d. 公共工事の環境配慮

要改善の指摘はありませんでした。

e. 取組状況の評価

取組目標に対する評価と現状が一致していない事例があり、また、エネルギー等使用量の増減について認識のない課かい、課内で共通認識を持たず取組状況进行评估している課かいがありました。事務局で作成している「取組状況確認シート」を活用する等、各課において取組状況を確認する体制を整える必要があります。また、取組の評価をする場合は、集計システムを利用し、エネルギー等の使用状況を踏まえたうえで、その取組内容が十分なものであったかを判断する必要があります。

f. 是正対応

立てていた是正計画を、実施していない事例がありました。過去の取組を振り返り、是正計画を立て、継続的に改善していくというEMSの仕組みを今一度確認し、再発防止に努める必要があります。

g. 研修の実施

課内で設定した取組目標について周知を行わず、職場研修が未実施の課かいはありました。職場研修自体は、年度内の実施でも構いませんが、事務局で実施している年度当初の課長、実行委員研修後早めに実施することが望ましく、設定された目標については、課内へ早急に周知する必要があります。

改善措置等

監査においては、3課かいはにおいて3件の「優秀事項」の判定があり、また、14課かいはにおいて16件の「要改善」の判定がありました。「要改善」の指摘事項に対しては、監査対象課から適切な改善方針が出されているとともに、既に改善措置が講じられています。

(6) まとめ（監査結果を踏まえ）

監査においては、各課の環境活動の実施状況やEMSの運用状況等を確認しました。一部課かいはにおいて、「要改善」の判定がありましたが、監査での指摘を受け、EMSの適切な運用を行うよう改善できました。

内部監査において「要改善」の判定を受けた事項は、今回監査を受けていない課かいはにおいても起こりうる可能性があり、事務局としては、同様の事項が発生しないよう、今回の監査内容について職員へ周知し、再発防止に努めています。また、優秀な取り組みを職員へ紹介し、より一層のEMSの推進に努めています。

6. 平成26年度実績における評価

平成26年度温室効果ガス排出量は、基準年度に比べて大幅に削減できておりますが、廃プラスチック焼却量の減少が主な要因であり、部門別に見ると、基準年度より使用量が増加した部門もあるため、今後も引き続き、取り組みを推進していく必要があります。

各部局における取組目標の達成状況については、「再生可能エネルギーの導入」、「低燃費車の導入」等の率直的な取組方針、「業務の効率化、労働時間の短縮」、「ノーマイカーデーの実施」に対する取組目標について、不十分だと評価した部局が散見されました。総体的には、各部局における取組目標は概ね実施されており、不十分だと評価した取組目標についても、実施内容の見直しが検討されています。

職員の日々の取り組みによる削減には限界があるため、さらに、推進するうえで必要となる施設改修や設備・機器の導入等に当たっては、各課において、積極的に情報収集や検討を行い、エネルギー使用量の削減や温室効果ガスの削減効果を考慮しながら、財政面での確保に努めることとします。事務局としても、市有施設の省エネ診断等を行うことで、各課へ積極的に省エネ設備導入の情報を提供していきます。

また、研修や内部監査を実施することにより、システムの継続的な改善を図っていきます。

各部署における環境活動の取組目標の達成状況(「様式3」 部署環境活動総括シート)の集約

部署名	区分	省エネ行動					施設における省エネルギー化			環境負荷の少ないエネルギー利用		公用車における省エネルギー化			その他						環境法規制等の遵守	公共工事の環境配慮
		冷暖房機器の適正管理	照明機器の適正管理	OA機器の適正管理	その他機器の適正管理、利用	業務の効率化、労働時間の短縮	高効率な設備機器の優先導入	設備機器の効率的な運転管理	建築物の省エネルギー化の推進	再生可能エネルギーの率先導入	ごみ焼却施設等から発生する余熱の有効利用	エコドライブの徹底	効率的な運行管理	低燃費車の導入	事務用紙使用量の抑制	節水	廃棄物の削減、リサイクルの推進	グリーン調達の推進	ノーマイカーデーの実施	イベント等における環境配慮		
基地政策局	達成度	100	100	100	100	80	—	—	—	—	—	80	100	—	80	100	100	90	80	—	—	—
	区分の平均	96					—			—		90			90						—	—
行財政改革推進局	達成度	100	100	100	100	100	—	—	—	—	—	—	100	—	80	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	100					—			—		100			96						—	—
企業立地推進局	達成度	100	90	80	100	80	—	—	—	—	—	100	100	100	90	100	100	100	0	—	100	—
	区分の平均	90					—			—		100			78						100	—
観光物産振興局	達成度	70	90	90	95	50	100	100	90	—	—	100	90	100	90	95	90	90	70	90	100	—
	区分の平均	79					97			—		97			88						100	—
防災危機管理局	達成度	100	100	100	100	40	—	—	—	—	—	100	100	—	100	100	100	80	40	100	—	—
	区分の平均	88					—			—		100			87						—	—
契約監理室	達成度	100	85	45	100	90	—	—	—	—	—	100	100	—	85	100	100	100	40	100	—	—
	区分の平均	84					—			—		100			88						—	—
企画部	達成度	99	98	93	95	88	100	100	90	—	—	95	98	82	93	100	95	98	73	97	100	—
	区分の平均	95					97			—		91			93						100	—
総務部	達成度	97	93	92	95	90	—	—	—	—	—	93	98	80	82	98	97	97	84	—	100	—
	区分の平均	93					—			—		90			91						100	—
財務部	達成度	100	94	86	100	84	100	100	100	100	—	90	98	60	40	96	96	100	24	—	100	—
	区分の平均	93					100			100		83			71						100	—
農水商工部	達成度	100	98	89	95	84	86	95	72	0	—	95	99	73	74	95	95	90	68	98	100	—
	区分の平均	93					84			0		89			87						100	—
都市整備部	達成度	100	93	91	99	83	80	—	—	—	—	97	100	77	89	100	97	97	67	93	100	100
	区分の平均	93					80			—		91			90						100	100
土木部	達成度	100	85	95	100	80	—	—	—	—	—	90	95	100	98	95	85	90	63	90	100	100
	区分の平均	92					—			—		95			87						100	100
港湾部	達成度	90	90	95	100	80	80	100	80	—	—	90	95	90	90	100	95	100	80	80	100	100
	区分の平均	91					87			—		92			91						100	100
市民生活部	達成度	94	95	89	96	89	69	97	65	0	—	94	93	67	90	95	96	97	68	73	100	—
	区分の平均	93					77			0		84			86						100	—
保健福祉部	達成度	96	94	79	88	62	88	93	50	—	—	92	92	65	73	93	93	94	57	86	90	—
	区分の平均	84					77			—		83			83						90	—
子ども未来部	達成度	90	87	88	83	40	—	—	—	—	—	92	80	90	75	85	85	83	70	80	100	—
	区分の平均	78					—			—		87			80						100	—
環境部	達成度	96	94	88	96	83	70	98	90	100	90	97	99	78	89	97	96	96	74	98	100	—
	区分の平均	91					86			95		91			92						100	—
国体推進室	達成度	80	100	80	100	80	—	100	100	—	—	80	100	—	80	100	100	80	80	100	100	—
	区分の平均	88					100			—		90			90						100	—
会計管理室	達成度	100	90	100	100	100	—	—	—	—	—	—	100	—	100	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	98					—			—		100			100						—	—
消防局	達成度	94	96	84	99	95	—	94	97	—	—	94	94	—	87	96	95	98	52	92	100	—
	区分の平均	93					95			—		94			86						100	—
交通局	達成度	100	100	85	90	40	45	100	80	—	—	90	90	45	90	100	100	100	60	80	100	—
	区分の平均	83					75			—		75			88						100	—
水道局	達成度	95	94	86	94	76	92	89	93	100	—	94	95	87	81	96	89	94	55	97	100	100
	区分の平均	89					91			100		92			85						100	100
総合病院	達成度	75	90	70	78	70	100	100	100	0	—	90	90	100	70	90	70	95	65	90	100	—
	区分の平均	77					100			0		93			80						100	—
教育委員会	達成度	89	93	91	93	85	71	90	76	40	—	94	94	77	89	93	95	93	67	91	97	—
	区分の平均	90					79			40		88			88						97	—
議会事務局	達成度	100	100	80	90	80	—	—	—	—	—	100	80	80	90	90	100	100	80	—	—	—
	区分の平均	90					—			—		87			92						—	—
選挙管理委員会事務局	達成度	100	100	100	80	100	—	—	—	—	—	—	—	—	100	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	96					—			—		—			100						—	—
監査事務局	達成度	100	100	100	100	100	—	—	—	—	—	—	—	—	100	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	100					—			—		—			100						—	—
農業委員会事務局	達成度	100	100	100	100	100	—	—	—	—	—	80	100	—	100	80	50	80	100	80	—	—
	区分の平均	100					—			—		90			82						—	—